

Syllabus Id	Syl.-102592
Subject Id	Sub.-102007110
更新履歴	20100326 新規
授業科目名	英語 , English
担当教員名	成田智子 (NARITA, Tomoko)
対象クラス	全学科
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年 (H.22)
授業区分	語学
授業形態	講義、演習
実施場所	選択制教室3・4

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英語が国際社会における意思伝達のための主要な言語媒体になっている現状を踏まえ、本授業科目では、高校卒業レベルの基礎的な英語知識を土台にして、受講者に親しみやすいトピックを扱った英文を教材に、「英語を読む力」を向上させると共に、「語彙力」や「文構造を把握する文法力」の向上を目指す。最終的には自主的な英語学習が継続できる「総合的英語学習力」を身につけられるようにする。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業レベル程度の基本的英語知識(文法・語彙・構文)

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成	
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成	
	D	国際的な受信・発信能力の養成	
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	
D 英語による実践的なコミュニケーション能力を養成する。			
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

- 英検準2級程度の英文を理解でき、英語らしく音読ができるようになること。
- 授業内の活動を通して、積極的に英語でコミュニケーションを行なう態度とその力を身につける。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	本授業科目の説明	
第2回	Unit 1	パラグラフの展開 報告	
第3回	Unit 1	パラグラフの展開 報告	
第4回	Unit 2	パラグラフの展開 時間的順序	
第5回	Unit 2	パラグラフの展開 時間的順序	
第6回	Unit 3	パラグラフの展開 手順	
第7回	Unit 3	パラグラフの展開 手順	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Unit 4	パラグラフの展開 コラム	
第10回	Unit 4	パラグラフの展開 コラム	
第11回	Unit 5	パラグラフの展開 事実と実例	
第12回	Unit 5	パラグラフの展開 事実と実例	
第13回	Unit 6	パラグラフの展開 報告	
第14回	Unit 6	パラグラフの展開 報告	

第 15 回	前期末試験		×
第 16 回	後期オリエンテーション	Unit 7 パラグラフの展開 定義法	
第 17 回	Unit 7	パラグラフの展開 定義法	
第 18 回	Unit 8	パラグラフの展開 報告	
第 19 回	Unit 8	パラグラフの展開 報告	
第 20 回	Unit 9	パラグラフの展開 比較	
第 21 回	Unit 9	パラグラフの展開 比較	
第 22 回	Unit 10	パラグラフの展開 列挙	
第 23 回	Unit 10	パラグラフの展開 列挙	
第 24 回	Unit 11	パラグラフの展開 列挙	
第 25 回	Unit 11	パラグラフの展開 列挙	
第 26 回	Unit 12	パラグラフの展開 報告	
第 27 回	Unit 12	パラグラフの展開 報告	
第 28 回	Unit 13	パラグラフの展開 事実と実例	
第 29 回	Unit 13	パラグラフの展開 事実と実例	
第 30 回	後期末試験		×

課題

授業中に指示する。

評価方法と基準

評価方法

テストは主に、教科書やその他の授業中に扱った教材の既習事項から出題するが、教科書とレベルが同程度の初見の英文からも若干出題する。テストの結果だけでなく、授業中の活動・発表、課題提出、授業態度、学習態度も評価に加える。

評価基準

定期試験(や授業内の小テスト)の成績・・・75～80%
 平常点(授業態度、学習意欲、提出物)・・・20～25%
 学習到達度自己評価・・・若干

教科書等	『Basic Interactive Reader』Naoko Ogawa(他)著 (金星堂) 英和辞典(毎回必ず持参すること) その他(必要があれば適宜プリント等を配布する)
先修科目	総合英語 A・B、英語 C、英語 W
関連サイトの URL	http://cocet.nime.ac.jp/ COCET 3300 https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/anet2/ ALC NetAcademy2
授業アンケートへの対応	見やすい板書、授業の重点項目の明確化を心がける。状況(学習意欲、理解度等)に応じて進度は適宜変更する。
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。